

2021年12月26日<降誕節第1主日>

No.  
22474(39)

年主題 「恵みを数えつつ歩む教会」

### 1.礼拝順序

司式 役員  
奏楽 オルガニスト

前奏

主はこう言われる。ラマで声が聞こえる。苦悩に満ちて嘆き、泣く声。ラケルが息子たちのゆえに泣いている。彼女は慰めを拒む／息子たちはもういないのだから。主はこう言われる。泣きやむがよい。目から涙をぬぐいなさい。あなたの苦しみは報いられる、と主は言われる。息子たちは敵の国から帰って来る。あなたの未来には希望がある、と主は言われる。息子たちは自分の国に帰って来る。(エレミヤ31:15~17)

招詞

- 讚美歌 一編409番
- 主の祈り (次ページ)
- 交読文 46 黙示録21章 (別冊交読文 p.53)
- 信仰告白 使徒信条 (次ページ)
- 聖書祈禱 マタイによる福音書2:13~18 (新約p.2)
- 説教 「クリスマスのもう一つの意味」 加藤眞衣子牧師
- 讚美歌 21-278番 (一編118番) 小林久美子、大江信久
- 奉獻 讚美歌 21-65-2番 (一編548番)
- 頌栄 21-29番 (一編544番)
- 祝禱 報告 祈りの時 後奏 加藤眞衣子牧師

## 2.集会案内

- 礼拝前祈禱会 10:15 礼拝堂前方
- お掃除 礼拝後
- 週報発送作業 お掃除後

聖書 (新約聖書)マタイ2:13~23(聖書日課・木曜日)

- 今月の祈り
- ・ コロナウイルスに感染された方々のご快復と、感染症の終息のために。医療従事者の方々のために。
  - ・ 2021年に与えられた恵みに感謝して。
  - ・ 新しい牧師が与えられるように。
  - ・ 伝道献身者が起こされるように。
  - ・ 土地・建物資金返済献金(年間目標額: 100万円)をおささげ出来ますように。
  - ・ 教区祈りのカレンダーより祈る教会：荻窪清水教会 梅津裕美牧師、創立1964年、現住陪餐81、礼拝出席38、祈禱会出席9、CS出席-、予算1350万円。

○次週主日礼拝 1月2日(日)10時半  
降誕節第2主日 新年礼拝 【聖餐式】

「愛に生きるための道しるべ」  
マタイによる福音書22:34~46 /加藤眞衣子牧師

司式：役員 奏楽：オルガニスト  
配餐：役員 礼拝当番：お当番  
招詞・ローマ13:8~10 交読文・17 詩編65篇  
讚美歌・一編411、一編413、二編152、21-29

○礼拝前祈禱会 10:15 礼拝堂前方  
○お掃除・クリスマス飾り片付け 礼拝後  
※バイブルクラス、教会学校はお休みです。

【クリスマス特別献金をささげましょう】  
イエスさまがわたしたちのためにお生まれくださった恵みに感謝して献金をおささげいたしましょう。1月9日(日)まで。

### 【主の祈り】

天にまします我らの父よ。  
願わくは御名（みな）をあげめさせたまえ。  
御国（みくに）を来たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく、  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用（にちよう）の糧（かて）を  
今日も与えたまえ。  
我らに罪を犯すものを我らが赦（ゆる）すごとく、  
我らの罪をも赦したまえ。  
我らを試（こころ）みにあわせず、  
悪より救いいだしたまえ。  
国と力と栄えとは、  
限りなく汝（なんじ）のものなればなり。  
アーメン。

### 【使徒信条（しとしんじょう）】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊（せいれい）によりてやどり、処女（おとめ）マ  
リヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府（よみ）にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の  
父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、  
生ける者と死ねる者とを審（さば）きたまわん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪  
の赦し（ゆるし）、身体（からだ）のよみがえり、永遠（と  
こしえ）の生命（いのち）を信ず。 アーメン。

○先週のクリスマス礼拝では子どもも大人も一緒にクリスマスをお祝いしました。オルガン、ピアノ、ギター、トランペットの音色に合わせて、豊かな賛美がささげられました。礼拝報告時にはサンタさんも駆けつけ、子どもたちはそれぞれプレゼントを受け取りました。礼拝後は、コロナ禍に新しく花小金井教会に与えられた兄弟姉妹を歓迎する時を持ちました。久しぶりの交わりの時に感謝しつつ、クリスマスの恵みのもと、お土産のクリスマスクッキーとみかんを手に、家路につきました。

○役員会では次年度予算案の検討を始めています。修繕等についてご意見がありましたら役員までお知らせ下さい。

○東京神学大学から「危機的状況からのお願い」と題するお便りが届いています。伝道者として献身を志願する者が激減し、大学としての存続も危ぶまれています。神学校の危機は教会の危機、またミッションスクールの危機です。日本に福音が宣べ伝えられ、教会が伝道していくために、これまで以上に祈りと財をおささげしましょう。まず祈ること、そして神学校に宝をささげること、そして受洗者が伝道献身者へと導かれるよう、働きかけて参りましょう。わたしたちは花小金井教会に新しい牧師が与えられることもあわせて、皆で祈りを合わせる時間を礼拝報告の後に持ちます。クリスチャンは信徒として献身するか、あるいは直接み言葉を宣べ伝える者として献身するか、二通りです。伝道献身を志す方が起こされることを、お祈りします。